

BREAK Interview Vol.11

女性の力で経済の活性化を図る「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」。その推進キャンペーンのために特別に描き下ろされた、鮎原こずえの「未来予想図」。今回は彼女が主人公の漫画「アタックNo.1」の生みの親である、漫画家 浦野千賀子さんにお話を伺いました。

浦野 千賀子
漫画家。代表作は「アタックNo.1」。1969年にはアニメ化され、一大バレーボールブームを巻き起こした。

Attack No.1!

私は、常に働く女性を尊敬・応援しています！

漫画家 浦野千賀子さん

なぜ、漫画家になろうと思ったのでしょうか？

絵を描く事と漫画を読む事が好きだったからです。

「アタックNo.1」について、印象に残っている思い出やエピソードなどはありますか？

漫画連載時、大阪にバレーボールの取材に行ったのですが体調を崩してしまい、入院する事になってしまいました。でも、漫画の連載を止める訳にはいかず、入院中もベッドの上で漫画を描いていた事が印象に残っています。

「アタックNo.1」の連載時やアニメ放映時に比べ、女性の活躍するフィールドもかなり変化したと思いますが、どのような印象をお持ちですか？

私が漫画を連載していた当時は、女性は学校を卒業するとすぐ家庭に入ることが多かったのですが、今は、テレビを見ても女性が活躍していたりと、様々な分野で多くの女性が社会に出てきているという印象があります。

今回「鮎原こずえの未来予想図」の作成にたずさわっていただきましたが、もし生まれ変われるとしたら何の職業につきたいですか？またその理由は？

子供が好きなので、保育士さんや看護師さんです。どの仕事も今は本当に女性が活躍しているの、昔より仕事の選択肢が増えてきていると思います。

ウーマノミクス・トレインについて、どんな印象をお持ちですか？

外装がピンクで女性らしく、車内も素敵だと思います。

埼玉県では、女性の活躍推進に取り組んでいます。女性の皆さんへメッセージをお願いします。

青春時代バレーボールに打ち込んでいた鮎原こずえが、その後、社会に出て働いたり、趣味を楽しんだりする姿を想像するのは楽しいですね。彼女は活発な女の子ですから、どんなお仕事や趣味に対してもきつと元氣よく取り組んでいたことでしょう。ただ、働くという事は、本当に大変な事だと思います。現在でも出産や子育てを機に仕事を退職される女性も多いと聞いております。女性がたくさん社会で活躍できるように、まわりの皆さんにも積極的にサポートしていただけたらと思います。女性がいきいきと輝き、働くことができる社会は素晴らしいですね。埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、私も応援します！



police officer

trekking

pâtissier

ウーマノミクス・トレイン
今回のキャンペーンを広めるため、西武鉄道・東武鉄道で現在運行中のラッピングトレイン。車体には鮎原こずえの描き下ろしイラストが。

西武鉄道



東武鉄道



埼玉版
ウーマノミクス
プロジェクト

埼玉版ウーマノミクス
プロジェクトとは？

ウーマノミクスとは、ウーマン+エコノミクスの造語。女性の活躍によって経済を活性化することです。